

日薬連発第 692 号
2026 年 9 月 16 日

加 盟 団 体 殿

日本製薬団体連合会
環 境 委 員 会

「ビジネスパートナー様向けビジネスパートナーと進めるサプライチェーン脱炭素化セミナー」の開催のご案内（製薬協・環境問題検討会主催）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より日薬連環境委員会の活動にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、題記の件、製薬協環境問題検討会より別紙のとおり説明会開催のご案内がありました。

つきましては、本件につきまして、貴会会員に周知頂きたく御連絡申し上げます

以 上

製薬協発第 438 号
令和 8 年 9 月 16 日

関係団体関係者 殿

日本製薬工業協会
環境問題検討会
委員長 清原 宏

「ビジネスパートナー様向けビジネスパートナーと進めるサプライチェーン脱炭素化セミナー」の開催について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の業務運営に格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

今般、当協会環境問題検討会では、下記のとおり、当協会加盟企業各社のビジネスパートナー様に向けて、ビジネスパートナーと進めるサプライチェーン脱炭素化セミナーに関する説明会を開催することといたしました。

近年、気候変動の影響が世界的に拡大、深刻化している中、世界保健機関（WHO）が『気候変動は 21 世紀の世界の人々の健康に対する最大の危機』と警告を発する等、気候変動への対応はヘルスケアセクターにとって重要な課題となっています。

当協会は、日本製薬団体連合会(日薬連)のカーボンニュートラル行動計画に沿って、脱炭素に向けた取り組みを進めています。医薬品業界における温室効果ガス（GHG）排出量の多くは、原材料調達や物流などの Scope3（自社事業の活動に関連する他社の排出）に由来しています。しかし、サプライチェーンの複雑さや温度管理を要する物流といった業界特有の要因により、個社単独での対応には限界がありました。Scope3 排出量の削減には、ビジネスパートナー各社との協働（エンゲージメント）が不可欠ですが、そのような取り組みは製薬会社各社が手探りで行っており、ビジネスパートナーも製薬会社からの依頼に戸惑いながら対応しているのが現状です。

このようなバリューチェーンの脱炭素の課題解決に向けて、環境問題検討会は、製薬業界の特色を考慮し、製薬会社そしてビジネスパートナー双方が、どのように取り組むべきかを示す、業界としての初の指針「製薬業界における Scope3 算定とビジネスパートナーとの連携実践ガイドライン」を作成しました。

本セミナーは、製薬企業に関連が深い製造・物流・流通の関係者皆様に対して、ガイドラインが示す業界としてのエンゲージメント方針、及び協働での GHG 排出量の具体的な算定方法について説明し、ガイドラインについての理解の向上及び製薬企業とビジネスパートナーとのエンゲージメントの推進に役立てていただくことを目的としています。

つきましては、ぜひ貴社の皆様にご参加いただきたく、本セミナーに参加ご希望の方は、**10 月 20 日（火）までに下記、申込 URL** よりお申し込みください。

敬白

記

【開催概要】

演題：製薬企業のビジネスパートナー様向けビジネスパートナーと進めるサプライチェーン脱炭素化セミナー

製薬企業のビジネスパートナー（製造・物流・流通業界）向け

日 時：令和8年10月21日（水）15時～16時15分

対象者：製薬企業に対して医薬品原料を供給するサプライヤー企業、製薬企業に物流サービスを提供する物流・流通企業、製薬企業から調達した製品の加工を行うメーカーにおいて、環境関連の対応を担当している部門担当者。GHG 排出量（Scope1～3）算定について、すでに基本的な知識、実践経験のある方を想定しています。

申込先（製造・物流・流通業界向け登録 URL）：

https://tokio-dr-co-jp.zoom.us/webinar/register/WN_h9I9ILMTRaCU8-t5uZ9gdQ

会 場：オンライン（Zoom）

定員：各回 300 名 ＊定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

参加費：無料

申込期限：令和8年10月20日（火）

注意事項

- ・視聴URL等は、お申込み後にメールで届きます。ウェビナー案内のメールが届かない場合には、迷惑メールボックスに届いていないか、また、ご登録時に入力されたメールアドレスに間違いがないかをご確認ください。
 - ・視聴 URL をお申込者以外に転送することは禁止いたします。
 - ・本セミナーは録画されます。本セミナーの動画や音声等すべての知的財産権は、講演者及びその所属先に帰属します。
 - ・講演動画の一部または全体の録音、写真・動画の撮影、ダウンロード及び講演資料の二次利用は禁止します。
 - ・オンライン中継は通信環境によって映像並びに音声の品質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。
 - ・お申込みの際等にご記入いただいた個人情報は、日本製薬工業協会及び委託先である東京海上ディーアール株式会社において適切に管理し、本説明会の実施・運営及び日本製薬工業協会が実施する関連事業のご案内に利用し、その他の目的には使用しません。東京海上ディーアール株式会社における個人情報の管理については、プライバシーステートメント（https://www.tokio-dr.jp/policy/privacy_statement/）をご確認ください。
- 上記につき同意の上、ウェビナーへの申し込みをお願いします。

【プログラム】

開会挨拶： 日本製薬工業協会 環境問題検討会

講演：

- ・気候変動をめぐる規制の潮流とガイドライン誕生の背景
- ・ガイドラインの概要とパートナー企業との協働への期待

- ・ GHG 排出量算定の実践
- ・ 協働による排出削減に向けて

Q&A

【講師】

東京海上ディーアール株式会社

ビジネスリスク本部サステナビリティユニット 上級主席研究員 武田様

【お問い合わせ先】

説明会やガイドラインの内容に関するお問い合わせ：

担当：日本製薬工業協会 環境問題検討会事務局

E-mail：kankyou@jpma.or.jp

参加申し込み方法に関するお問い合わせ：

担当：東京海上ディーアール株式会社 ビジネスリスク本部 サステナビリティユニット

E-mail：environment@tokio-dr.co.jp